



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月30日

上場会社名 株式会社 ウェッズ  
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 稲妻 範彦  
 (氏名) 中尾 宏平  
 TEL 03-5753-8201

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	29,170	7.4	2,163	72.0	2,451	94.0	1,538	100.2
2022年3月期第3四半期	27,158	12.9	1,257	9.3	1,263	11.9	768	15.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,397百万円 (100.1%) 2022年3月期第3四半期 698百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	95.90	
2022年3月期第3四半期	47.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	24,596	16,273	60.4	925.96
2022年3月期	22,482	15,227	61.6	864.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 14,850百万円 2022年3月期 13,858百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		10.00	20.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2023年1月30日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.0	2,230	46.7	2,520	65.4	1,560	80.7	97.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年1月30日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	16,118,166 株	2022年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	80,039 株	2022年3月期	80,039 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	16,038,127 株	2022年3月期3Q	16,038,131 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する数値及び記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、夏場の新型コロナウイルス感染症拡大時には陰りが見えましたが、第3四半期連結会計期間では、インバウンド需要や個人消費の持ち直し、堅調な輸出や設備投資などにより緩やかに回復しました。一方で不安定な為替レートやインフレの進行、半導体不足による自動車生産の動向など、今後の事業環境は不透明であり、引き続き注視が必要です。

当第3四半期連結累計期間は、主力のアルミホイール等が増加した自動車関連卸売事業はじめ主要事業での売上増により、売上高は、29,170百万円（前年同期比7.4%の増収）と2,012百万円の増収となりました。営業利益は、2,163百万円（前年同期比72.0%の増益）、経常利益は、2,451百万円（前年同期比94.0%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,538百万円（前年同期比100.2%の増益）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(セグメント別の概況)

(単位：百万円)

		自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第3四半期 連結累計期間	21,856	5,616	2,018	394	539	△1,254	29,170
	前第3四半期 連結累計期間	20,312	5,255	1,818	324	793	△1,345	27,158
セグメント利益	当第3四半期 連結累計期間	1,734	248	115	56	9	△0	2,163
	前第3四半期 連結累計期間	910	251	56	17	20	△0	1,257

## (自動車関連卸売事業)

自動車関連卸売事業の売上高は21,856百万円となり前年同期比1,544百万円（7.6%）の増収となりました。これは、主力のアルミホイール及びスチールホイールの売上増によるものです。セグメント利益につきましても、ホイール売上の増加に伴い、1,734百万円となり前年同期比824百万円（90.5%）の増益となりました。

## (物流事業)

物流事業の売上高は、倉庫売上、また新規取引が増加したことなどにより5,616百万円となり前年同期比361百万円（6.9%）の増収となりました。一方、セグメント利益につきましては採用等による経費増もあり、248百万円となり前年同期比3百万円（△1.3%）の減益となりました。

## (自動車関連小売事業)

自動車関連小売事業の売上高は、ジェームス店各店でタイヤはじめ自動車用品の販売増、また通販も増加し、2,018百万円となり前年同期比199百万円（11.0%）の増収となりました。セグメント利益は115百万円となり前年同期比58百万円（103.9%）の増益となりました。

## (福祉事業)

福祉事業の売上高は、入居者の増加、また訪問介護や通所介護等、既存事業の収入増に加え、2021年12月立上げの訪問看護事業の収入増により、394百万円と前年同期比70百万円（21.6%）の増収となりました。セグメント利益は56百万円となり前年同期比38百万円（212.8%）の増益となりました。

## (その他)

携帯電話代理店事業の売上高につきましては、販売台数の減少に加え、前連結会計年度に1店舗譲渡し4店舗体制となったこと等より478百万円となり前年同期比254百万円（△34.7%）の減収、賃貸事業の売上高は60百万円となり前年同期と同額で、合わせて539百万円となり254百万円（△32.0%）の減収となりました。

セグメント利益は、携帯電話代理店事業では、売上減少等により、33百万円の損失となり前年同期比11百万円の悪化となりました。また、賃貸事業は42百万円の利益で前年とほぼ同額、合わせて9百万円と前年同期比11百万円（△56.0%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における総資産額は24,596百万円となり、前期末に比べて2,113百万円の増加となりました。主たる要因は、季節的要因による売掛債権の増加によるものです。

負債総額は8,323百万円であり、前期末に比べて1,067百万円の増加となりました。主たる要因は冬季商戦に向けた仕入等による買掛債務の増加によるものです。

純資産は16,273百万円となり、前期末に比べて1,045百万円の増加となりました。主たる要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2022年5月13日に公表した業績予想値より修正を行いました。

詳細は、2023年1月30日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,997,998	3,880,714
受取手形及び売掛金	3,974,287	6,652,388
電子記録債権	185,593	293,699
商品	3,124,500	4,130,816
仕掛品	221,183	252,044
原材料及び貯蔵品	77,185	83,855
デリバティブ債権	349,891	—
前渡金	281,579	240,005
その他	442,178	284,667
貸倒引当金	△426	△898
流動資産合計	13,653,972	15,817,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,964,790	7,734,290
減価償却累計額	△4,452,895	△4,442,776
建物及び構築物(純額)	3,511,895	3,291,514
土地	3,357,656	3,357,656
その他	1,476,902	1,478,518
減価償却累計額	△1,191,643	△1,231,789
その他(純額)	285,258	246,729
有形固定資産合計	7,154,810	6,895,899
無形固定資産		
のれん	85,352	71,594
その他	65,108	90,736
無形固定資産合計	150,461	162,331
投資その他の資産		
投資有価証券	454,633	473,688
繰延税金資産	403,909	535,222
退職給付に係る資産	70,876	70,732
長期未収入金	116,217	60,273
その他	598,929	645,629
貸倒引当金	△120,857	△64,743
投資その他の資産合計	1,523,708	1,720,802
固定資産合計	8,828,979	8,779,033
資産合計	22,482,952	24,596,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,800,501	3,590,776
短期借入金	245,440	345,440
未払法人税等	430,954	538,993
賞与引当金	216,039	265,475
役員賞与引当金	61,300	48,095
その他	910,070	1,059,855
流動負債合計	4,664,305	5,848,635
固定負債		
長期借入金	1,588,560	1,488,480
繰延税金負債	5,240	1,461
修繕引当金	70,960	75,460
退職給付に係る負債	226,965	237,122
役員退職慰労引当金	146,475	133,503
資産除去債務	199,714	200,873
その他	353,297	337,577
固定負債合計	2,591,213	2,474,478
負債合計	7,255,519	8,323,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	845,913	845,913
利益剰余金	11,754,177	12,971,461
自己株式	△47,781	△47,781
株主資本合計	13,405,059	14,622,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,543	190,786
繰延ヘッジ損益	242,754	△1,132
為替換算調整勘定	32,492	38,589
その他の包括利益累計額合計	453,790	228,243
非支配株主持分	1,368,583	1,422,625
純資産合計	15,227,433	16,273,211
負債純資産合計	22,482,952	24,596,326

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	27,158,601	29,170,799
売上原価	22,201,967	23,035,905
売上総利益	4,956,633	6,134,893
販売費及び一般管理費	3,698,954	3,971,167
営業利益	1,257,679	2,163,726
営業外収益		
受取利息	190	250
受取配当金	12,761	10,322
為替差益	—	133,326
保険解約返戻金	1,100	49,681
受取補償金	—	27,064
貸倒引当金戻入額	—	57,225
雇用調整助成金	6,380	—
その他	19,066	17,626
営業外収益合計	39,499	295,497
営業外費用		
支払利息	4,599	4,104
為替差損	5,727	—
固定資産売却損	4,184	204
固定資産除却損	15,173	0
その他	4,090	3,575
営業外費用合計	33,776	7,885
経常利益	1,263,403	2,451,338
特別損失		
減損損失	—	70,384
特別損失合計	—	70,384
税金等調整前四半期純利益	1,263,403	2,380,953
法人税、住民税及び事業税	410,205	791,087
法人税等調整額	14,539	△32,783
法人税等合計	424,744	758,304
四半期純利益	838,658	1,622,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	70,504	84,603
親会社株主に帰属する四半期純利益	768,153	1,538,046



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	838,658	1,622,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	906	12,343
繰延ヘッジ損益	△144,331	△243,887
為替換算調整勘定	3,067	6,097
その他の包括利益合計	△140,357	△225,447
四半期包括利益	698,301	1,397,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	627,710	1,312,498
非支配株主に係る四半期包括利益	70,590	84,703

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,980,265	4,242,829	1,817,806	324,069	26,364,971	793,629	27,158,601	—	27,158,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	332,349	1,012,597	538	—	1,345,484	—	1,345,484	△1,345,484	—
計	20,312,614	5,255,426	1,818,344	324,069	27,710,455	793,629	28,504,085	△1,345,484	27,158,601
セグメント利益	910,689	251,698	56,698	17,917	1,237,004	20,746	1,257,750	△70	1,257,679

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△70千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,522,082	4,701,740	2,013,474	394,178	28,631,476	539,322	29,170,799	—	29,170,799
セグメント間の内部売上高又は振替高	334,740	914,816	4,830	—	1,254,386	—	1,254,386	△1,254,386	—
計	21,856,823	5,616,556	2,018,304	394,178	29,885,863	539,322	30,425,186	△1,254,386	29,170,799
セグメント利益	1,734,694	248,352	115,632	56,051	2,154,730	9,127	2,163,858	△132	2,163,726

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△132千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

携帯電話代理店事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の当第3四半期連結累計期間における計上額は70,384千円であります。